

B.R.

p.3 ~

Central Inhibition of reflexes.

inhibition 抑制

Pavlov. = active process

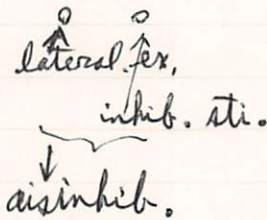
excitation & inhibition の関係は 逆

- ~~差違~~ 分化
 - 条件抑制
 - 近滞
 - 消弱
- ↑ 条件抑制
- } → inhibition

lateral excitation の存在?!

◦ the correlation of the conditioned stimulus and latent excitation

◦ the correlation between inhibitory stimulus and latent ex.



summary

条件反射の1つ。2分〜数日, "隠れた興奮" がつかく
一方が二の神経のとき他方の神経には強化刺激又は
抑制刺激の働きをよびかえすと。前者が excitatory 32

Conditioned Reflexes with Two-way Connections

E. A. ASRATYAN

1. Conditioned Reflex. (CR). with two-way connections.

• Beritashvili

① forward connection

excites C.S. の神経 → un-C.S. へ移す。

② backward connection

excites latter nervous structure の former へ移す

• Beritov

forward excit. → C.R.

backward excit. → inhibition

extinction
differentiation
delay

• Pavlov

この connections は生理学的キリミで
（随意運動の）

皮質の運動細胞は皮質の神経細胞と結びついている。

① we (ASRATYAN)

例題; 2-way 条件反射の結合は

not どの現象

but 一般的 "

対にあるCRの相互の抑制は、少くも、その出現後1/3秒ほど遅くして
側々は、反対の一方が完全に消えたとき、他方が強くなって抑制が弱くなる。

以上、we の仮説の検証

反射の条件付けは必ずしも存在し、抑制が弱くなるが、これは、
相互に進行する。相互作用である。

• CR food \rightarrow leg.

food を与えて、これを leg を与えたとき、この CR を消去したとき、
必ず food を与えて、足を与えたとき、合意条件反射は弱まる
過程を経た。必ずしも、足を与えたとき、合意条件は弱まる。

3. Functional peculiarities of two-way conditioned connection

2つの反射の各々の強度は違う

2つの順を交互にすると、2つは等しい。強さ、安定、抑制力も等しい。
しかし、固定した順にすると、前の刺激は後より強い。

強さの等しい刺激が、抑制が弱くなる。強さの一方が先に与えられるが、後の刺激が
より強くなる。逆の場合は両方の強さが等しい。

後の反射は必ず CR であるか?!

その答えは、これは CR である。summation Reflex と呼ぶ。
we.

進化の段階で、類似現象から CR への移行は必ずしも必ずしも行わなかった。(伏?)

“反射段階” forward connection は CR である。

高等動物では backward connection は CR である。

“phenomena akin” の場合は、必ずしも、必ずしも。

4, physiological importance of backward connection

backward connectionのおかげで 繰返し、循環をいれし可能
して、これは、CRDの巨かまを多く、

↑ ISには、増大列

↑ 互(おしあがり)現象 (短"刺激で"のCRの延長) の説明

↑ Kupalov